

令和3年度 市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和3年（2021年）10月2日（土）
午後1時から2時30分まで
- 2 開催場所 平塚市役所本館302会議室
- 3 参加者 平塚市PTA連絡協議会役員 5人
(保護者4人、教職員1人)
- 4 テーマ もっと子育てしやすい平塚に



ほっとミーティングの様子

5 市長あいさつ

皆様こんにちは。平塚市長の落合克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただき、ありがとうございます。また、日頃教育現場や地域活動を支えていただき、重ねてお礼申し上げます。

この「市長と語ろう！ほっとミーティング」は、市民の皆様から広く御意見や御提案をお聞きすることが重要と考え、市長に就任以来、多くの地域・世代と対話させていただいています。本日も率直な御意見をいただきたいと思っています。

さて、新型コロナウイルス感染症は、市民生活全体に大きな影響を与え、皆様も大変御不便をされているなかで、市政に御協力いただいていることに対し改めて感謝申し上げます。

これまでの平塚の発生状況ですが、7月後半からの第5波においては、9月2日に最多の新規陽性者を確認しましたが、以後大きく減少しました。その間、若い年代に感染が広がったことが大きな特徴でしたので、教育現場等でも徹底した安全対策を実施していただきました。市としても、子どもたちの命と健康の確保と学びの保障のために、夏休みを1週間延長したり、再開後しばらく午前授業とする対応をとりました。また、ワクチン接種においても、教職員や児童・生徒の優先枠を設けて実施しました。引き続き、ワクチン接種や感染対策をしっかり進めていきます。

一方で、このコロナ禍における生活様式の変化は、デジタル化など新たなまちづくりを進めるチャンスと捉えることもできます。より住みやすい平塚となるよう、未来を見据えてしっかりと取組を進めていきたいと考えています。そのために本日皆様から率直な御意見をいただきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

6 主なミーティングの内容

【司会】

まず全児童・生徒に配備されたタブレット端末や平塚市のGIGAスクール構想について議論を進めていきたいと思えます。

【参加者】

子どもたちが自宅でWi-Fi設定をするために持ち帰ったときに、少し見てみましたが、YouTubeなども視聴可能であり、特に制限もかかっていないようでした。他市ではいじめにつながってしまった事例もあり、保

護者として心配しています。

【参加者（教職員）】

タブレット端末を利用した授業も始まり、先生たちも使い方を勉強して授業に取り入れるようにしています。

【参加者】

保護者もデジタル化の流れについていく努力が必要だと感じました。

【参加者】

昨年以來、授業参観がありません。授業風景を見るだけで保護者としては安心感をもつことができると思います。オンライン授業参観ができるといいなと思います。また、いじめ対策はとても重要だと思います。特にインターネット上でのいじめは、大人が気づきにくい面が心配です。

【参加者】

先生もICTの専門家ではないので、専門家の派遣など先生への支援が必要だと思います。以前インターネットの危険性について保護者向けの講演会を行ったことがありますが、保護者の意識には温度差が大きいと感じています。関心が低い世帯への啓発が必要だと考えています。

【参加者】

今年度PTA会長を務めていますが、学校に行く機会がほとんどなくなってしまいました。少しでも学校の様子が知りたいと思っている保護者は多いと思います。

【司会】

先生のお立場からICTの使い方やルール、その他の取組などがあれば教えてください。

【参加者（教職員）】

以前からインターネット・スマホの使い方、注意点などの指導は行っています。先日配備されたタブレット端末の使い方やルールについては、教員も研修を受けたりして勉強していますが、子どもたちの方が慣れるのが早く、先生が教えてもらうこともあります。専門の方に支援してもらえるとありがたいです。御提案のオンライン授業参観などは、子どもの表情や様子を中心に撮影するためには機材や人員など課題は多いかと思います。

【市長】

GIGAスクール構想については、市教育委員会に強く働きかけ、思い切って1人1台のタブレット端末や65インチモニターを各教室に配備しました。配備したタブレット端末を最大限活用するためには、教える側の人材育成が重要であると感じています。また他市では学校用タブレットがいじめの温床になってしまった事例もあり、いじめ対策もしっかり取り組んでいかな

ければならないと感じています。本市では教育研究所が中心となって取り組んでおり、例えばタブレット端末のグーグルチャットでは書き込み制限をしたり、他市で問題となったパスワードの共同利用をしないなど安全対策をとっていると報告を受けています。また情報モラルを身につけてもらうために学校と各家庭と教育委員会全体でしっかり取り組んでいかなければならないと考えています。タブレット端末は学習ツールの一つとしても大変有効で、将来を担う子どもにとってデジタルスキルは必須だと考えていますので、環境整備はしっかりと進めていきたいと考えています。

担当課補足

安全対策について

1 教育用アカウントによる制限

教育用アカウントで教育用タブレットを使用する場合は、Google社の基準により、各種制限がかかるようになっています。

【制限内容の一部】

- ・ G o o g l e 検索…露骨な表現を含む検索結果のほとんどを除外
- ・ Y o u T u b e …成人向けの可能性がある動画を除外

2 インターネット接続時のフィルタリング

学校のW i - F i環境で教育用タブレットを利用する際は、フィルタリング設定を行っています。家庭のW i - F i環境で利用する際には、各家庭のW i - F i環境のフィルタリング設定が適用されます。

3 いじめ対策

偏見や差別、いじめは、断じて許されないものであることを、各種資料等を活用し、特別の教科道徳や学級活動などの時間を通じて、発達段階に応じた指導を行っています。

特に、タブレットを媒介としたいじめや、SNSによるいじめについては、情報モラル教育の機会を捉え、タブレットやスマートフォン等を利用する際のルールについて、呼びかけています。

【参加者】

せっかくのタブレット端末なので、どんどん活用してもらっていいと思います。例えば学校間での交流に利用したりするのも面白いのではないのでしょうか。

【参加者（教職員）】

実際に同中学校区の2つの小学校をつないで交流をしたことがありました。

【司会】

次に学校行事の中止・縮小について、議論を進めていきたいと思います。

【参加者】

昨年以来、学校行事の中止・縮小が相次ぎ、子どもにとって貴重な体験となるべき機会が失われてしまっていると感じています。学校だけでなくPTAや市とも協力しながら、何か子どもたちに思い出に残るような企画ができないかと考えています。

【参加者】

学校行事だけでなく、地域における行事も中止・縮小が相次いでおり、世代間交流なども失われてしまっていると心配しています。

【参加者（教職員）】

子どもたちにもマスク着用やソーシャルディスタンス確保などコロナ対策の意識は当たり前になっています。これまでは「つながり・ふれあい」のように密を目指すようなイベントが多かったのですが、学校はこれまでと正反対のイメージをもって企画、運営をすることに戸惑いを感じる場合があります。

【参加者】

広報を担当していますが、記事にするネタがなく苦慮しています。またイベントがないと会費を支出することがないので、中にはPTAの存在意義を問う声も聞こえてきます。何かできることを見つけて実施したいと考えています。

【参加者】

運動会も観覧は最高学年の保護者1名のみと制限はあったものの、密にならない競技などを先生方が一生懸命考えてくれた様子がみてとれて、大変ありがたかったです。子どもたちの様子ですが、修学旅行は年度当初から諦めてしまっており、将来にあまり期待しない姿が少し心配になります。未来に希望をもてるように、大人が子どもたちのことを考えている姿勢を見せ続けることが大人の責任なのかなと感じています。

【参加者】

私の子どもが通う小学校でも先生方がいろいろな企画を考えてくれて、保護者も子どもたちも感謝しています。今までのようにできない逆境から新しい発想が生まれることもあると思います。いろいろな取組を学校間で共有できるといいなと思います。PTAとしても学校間連携が大きなテーマです。オンライン環境を使いながら連携を図りたいと思っています。

【参加者（教職員）】

私が勤務する学校でも運動会をどういった形なら開催できるか教職員全員で考えました。今月末に実施予定です。

【市長】

皆様が子どもたちのために御尽力いただいていることに改めてお礼申し上げます。私も地域の人たちに育ててもらった人間だと思っています。平塚は人と人とのつながりを大事にしてきたまちです。この平塚の大きな魅力がコロナ禍で衰退してしまうことをとても危惧しています。この危機感から昨年11月には平塚市自治会連絡協議会の連合会長にお集まりいただき、ほっとミーティングを開催しました。一部の会長からは、地区レクなどイベントをぜひ実施したいなど御要望もいただき、最低限守っていただくべき安全対策のガイドラインを策定して、地域の実情に応じて開催をしてもらいました。今後のイベントのあり方については、先月末で緊急事態宣言が解除されワクチン接種も進みましたので、これからは行動制限ばかりではなく、少しずつ制限を緩和していく時期になり始めていると思います。既に新しいガイドラインは策定を指示していますので、もう少しの辛抱と期待をしていただければと思っています。

【司会】

最後に、制服について議論を進めていきたいと思います。

【参加者】

娘が2人とも中学生ですが、制服が好きでないと話します。現在の多様性やLGBTの流れからすると、男女別の制服とするのではなく女子でもスカート、パンツのどちらも選べるようにした方がいいのではないかと考えています。

【参加者】

もともと制服を着る機会が少なかったと思っていましたが、コロナ禍で特に少なくなったと感じています。女子のパンツスタイルについては導入している中学校もあると聞きました。

【参加者（教職員）】

制服に限らず、教育現場では男女別にすることは極力減らしていく流れだと感じています。

【参加者】

男女別が当たり前だった私たちの世代の中には、現在の性の多様性についていけない人もいます。子どもたちの方が今の感覚に順応しており、大人が意識を変えなければならない課題なのかと感じています。制服は男・女・ユニセックスの3種類を用意して、男女とも好きなものを選べるようになるといいのかなと思います。

【市長】

制服については、男女が自由に選べるのが当たり前の時代がくるのでは

ないかと感じています。性の多様性については、本市でもパートナーシップ宣誓制度の導入に向けた準備を進めるなど、多様性を尊重しあう社会を目指して取り組んでいます。大人より子どもたちの方が多様性に対する理解があるとの御意見には同感です。大人への啓発にしっかり取り組み、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる平塚となるよう努力していきたいと考えています。

7 市長によるまとめ

本日は皆様から率直な御意見を多くいただき、ありがとうございました。皆様が御自身のお子さんのことだけでなく子どもたち全員のことを考え、地域を大切にしてくださいながら日々活動されていることに、改めて感謝申し上げます。私も30年以上前に、相模小学校・神田中学校のPTA役員として活動していたことがあります。子どもたちに楽しんでもらうイベントを企画、運営したり、朝のあいさつ運動として、毎朝校門前で子どもたちに声掛けをしたりしていました。将来を担う子どもたちに地域の人々の温かみを感じてもらうことが、平塚の人の温かみや魅力を高めるために必要と感じています。皆様には、地域を支える原動力として、引き続き子どもたちを支え、地域を応援していただけますと大変ありがたいと考えています。本日はありがとうございました。

以 上